



仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

2016年10月号ブリテン 通算第65号 2016.10.28



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX 022-222-2952

Email: migaku-katoken@mvd.biglobe.ne.jp 書記 加藤 研ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:45

2016-2017年度 主題 (Theme)

国際会長	Joan Wilson (カナダ)	「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日にむかって、今日動こう」
北東部 部長	長岡 正彦 (もりおか)	「明日のために、いま土台を築こう」
クラブ 会長	及川 浩美	「笑顔を絶やさず!」～ Keep on smiling!～

2016~2017年度 クラブ役員

会 長	及川 浩美	地域奉仕	伊勢 文夫	メネット会長	松本 京子
副 会 長	佐藤 剛	会員増強	阿部 松男	ブリテン	本野 日出子
	菅野 健		村井 伸夫	ユース	布宮 圭子
書 記	加藤 研	国際交流	吉田 俊一	YMCA	清水川 洋
会 計	門脇 秀知		佐藤 善人	直前会長	佐藤 善人
監 査	高篠 伸子	ドライバー	菅野 健	担当主事	荒木 啓二

今月の聖句

吉田 俊一

「主は与え、主は奪う。主の御名はほめたたえられよ。」

ヨブ記1章21節

巻頭言

「もったいない」

菅野 健

2020 東京オリンピック・パラリンピック準備の段階で、特に競技場のことで世間を騒がせています。どうしてこんなことが続くのか。

最初のつまずきは「国立競技場」。見るからに斬新な設計であったが、工事費が高すぎてあえなく白紙撤回。代案があつという間に決まり一件落着と思いきや、次はポート会場の問題。その次に待っているのが水泳の会場とバレーボールの会場とか。いずれも当初計画時のずさんな経費見積が混原因。

当初の3倍近くにもなったと思えば数日で半額。小池知事でなくとも注文をつけるのは当然。増えた理由は主に観客席数による施設の拡大とか。

オリンピックは4年ごとに開催され、開催種目も大きく変わることもなく、競技に必要な面積などは規定で決まっているはず。ならば、直近2大会の会場を見ればどの位の施設が必要で、経費はどのくらいかはおのずとわかるはず。どうしてとんでもない見積額が出るのか。誰かのためなのだろうか。

宮城県には国体用に造った大きな陸上競技場がある。しかしここで陸上競技が開催されるのは年に数回もない。サッカー大会もほとんど開催されない。使用料が高すぎるのとアクセスが良くないのが原因と言われる。これを「もったいない」と言わないで何というのか。

そうならないようにオリンピック後の活用も十分考慮して計画することを望むのみ。

9月第1例会報告

在籍者	16名	出席者	9名	メイキャップ	2名	出席率	68%
メネット	名	ゲスト・ビジター	名	ニコニコ	11000円		

【9月第1例会報告】

日 時：9月27日(水) 18:45~20:30

場 所：仙台YMCA

出席者：阿部・伊勢・及川・加藤・門脇・菅野・高篠・
布宮・村井・本野

気候不順な9月でした。7個(4.8)の台風が発生し上陸は2個(0.8)。()内は年平均値ですが、

8月は7個(5.9)発生、4個(0.9)上陸と例年と比較して、自然災害に振り回された夏の終わりでした。

そんな鬱陶しさを吹き飛ばしてくれたのが、村井伸夫さん企画の例会でした。(写真右上)

題して「軟脳清心興志強行 with Fun」

硬くなった脳細胞を柔軟に再生するための大プロジェクトでありました。

何しろ当クラブの平均年齢は限りなく「還暦」に近く、若手の新会員入会が無ければ年々齢を重ね、気が付くと平均年齢が「喜寿」と成りかねない…見た目は仕方ないとしても、その脳細胞だけはいつまでも若々しくありたいとの「願望」を込めた企画でした。

しかし仰々しいタイトルとは裏腹に、1から順番に数字を参加者で言い回し「3の倍数」の時は「拍手で沈黙」の簡単なルールでいざ始めると、数字と拍手が同時に出たり、瞬間考えた為「間」が開いたり、流れるような数字の繋がりではありませんでした。

3グループ別れて(1つは女性だけ)語彙の能力を試すゲームでは、圧倒的に女性チームに軍配が上がりました。例えば我グループでは「木への漢字」を書きなさいとの指示に「松・杉」くらいまでは出ましたが、後が続かない。少し考えれば「梅・桜・柿・桃…」などがあるのに、日常目にする文字が浮かばないという悲しい現実を知らされました。

ましてや「新しい漢字を作りなさい」との問いかけには、発想できる余力はありませんでした。文字は読むだけでなく「自分の手で書く」パソコンなど利用せず「手書きする」ことが「脳の活性化」であると気付かされました。大変に楽しい例会でした。感謝です。

ニコニコ 11000円



【10月第2例会報告】

日 時：10月12日(水) 18:45~20:30

場 所：仙台YMCA

出席者：阿部・及川・加藤・門脇・菅野・佐藤剛・松本・
吉田

<協議報告事項>

① 理事通信の確認：『使用済み切手は継続』

2017年2月4・5日「東西ワイク交流会」に各部署で持参する事。

② 会長報告

・10月28日(金)第1例会 移動例会「茂庭荘」

企画担当：7松本ウイメン・佐藤剛メン
宴会 18:30~

・10月20日チャリティゴルフ

担当委員：門脇メン

賞品提供をお願いと参加者募集の再度のお願い。

・仙台4クラブ会長会

10月22・23日「被災地少年サッカー大会」実施。

22日(土)YMCA 宿泊時の夕食「カレー作り」依頼
西日本区からの被災地献金は申請後会長会議で用途を決議。(ex 映画・津波石)

③ その他・これからの予定

・7『YMCA クリスマス』12月2日市民会館で開催。

・10/17(月)国際協力募金『ジャガイモ・カボチャ』YMCA 到着済

・10/22(土)~23(日)被災地少年サッカー大会

・11/5(土)「富沢児童館祭り」

・11/10(木)「南大野田 餅つき」

編集後記

様々な行事にご協力いただいた秋です。

お疲れさまでした。 H. H



第 22 回仙台 YMCA インターナショナル・チャリティランを終えて

台風による天候悪化が懸念される中、過去最多の、駅伝 43、ファミリーラン 22 のチームがエントリーし、9 月 22 日に第 22 回仙台 YMCA インターナショナル・チャリティランが開催されました。

大会の様子は、「YMCA NEWS」、また、記録等は報告書で・・・・・・。

思い起こせば 22 年前、情報が何もない中、手探りで開催した大会が懐かしく思い出されます。あの頃は、チーム数も少なく、宣言タイムの発表、表彰で、解散。運営する側に余裕がなく、参加された方々が満足されて帰られたか考える余裕もありませんでした。

それが今では、レース後も楽しいイベントがたくさんあり、参加された方々が笑顔で「また、来年も！」と帰られる姿がみられ、スタッフが日々の忙しい仕事の中、チャリティランに寄せる熱い思いが感じられます。楽しい大会をありがとうございました。

ただ、一つ残念なのは、全国大会実行委員長の方が、いろいろと事情がおりかと思いますが、なかなかお見えにならないことではないでしょうか。ぜひ、近いうちに全校大会実行委員長がお見えになることを願っています。これからも、微力ながらお手伝いをしていこうと思っています。(佐藤剛)



【例会スピーチご案内】

リオデジャネイロ
パラリンピック
柔道男子
監督 遠藤 義安氏

11月2日(水) 19:15~
仙台YMCA会議室

ご友人お誘いあわせの上ご来場ください